

皆さんこんにちは。私の在外研究も終わりに近づいてきました。最後の「アメリカ・ボルチモア便り」をお送りします。今回はボルチモアから少し離れた街と建物について紹介します。ボルチモアは、アメリカ東海岸側に位置しニューヨーク市とワシントン D.C.の間にあると Vol.1 でお伝えしましたが、今回はその2つの都市とフランク・ロイド・ライトの傑作「落水荘」について述べたいと思います。

1) ニューヨーク市の摩天楼

世界最大の都市ニューヨーク市。ここは巨大都市としてだけでなく、芸術やエンターテイメント、そしてグローバル経済の最先端としても有名な都市です。様々な名所がありますが、最も有名な場所はタイムズスクエアかと。そこに立つと様々な人種の群衆とそれを囲む多くの超高層建物に圧倒されます。超高層建物が世界の果てまで続いているのでは、と錯覚してしまいます。これが私の第一印象です。(念のため記しますがコロナ禍前の訪問です。) ニューヨークでは数多くの著名な建築物を訪ねました。ロックフェラーセンター、セント・パトリック教会、ブルックリン橋など。私が一番驚いたのは2015年に完成した「極細」超高層建物の「432 Park Avenue」です。建物の幅 28.5m、高さ 426m。その比(辺長比)は 1:15。少し前では構造設計が不可能な細さです。(因みに、あべのハルカスの辺長比は概ね 1:4~5)。雑誌等でその存在は知っていましたが実際に目の当たりにすると不思議な感覚に襲われます。本当に大丈夫なの？って。平面は正方形であり外観は至ってシンプルですが、存在感は圧倒的です。「極細」を実現するために、超高強度コンクリート、ダブルチューブ構造、制振装置、風穴による気流制御など建築構造の最先端技術が数多く導入されています。「極細」超高層建物は「432 Park Avenue」の他、その付近に幾つか存在します。現在建設中の「111 West 57th Street」の辺長比は 1:24 ! (高さは 435m)。超高層建物はどこまで細くなるのでしょうか。



Times square から北側を望む。「世界の交差点」です。多くの人で賑わい、そしてどこまでも超高層建物が続きます。



Rockefeller Center 屋上からの風景。右側の細く高い建物が「432 Park Avenue」。信じられない細さです。左側には Central park (見えますか?)

2) ワシントン D.C.のナショナルモール

アメリカ合衆国の首都、ワシントン D.C.。ここはどの州にも属さない特別区です。その中心部にナショナルモール国立公園があります。その周辺にアメリカ合衆国議会議事堂、ホワイトハウス、各省庁が存在します。更に、様々な博物館、美術館、記念碑もあります。記念碑で一番目を引くのはやはりワシントン記念塔ではないでしょうか。皆さんも一度は書籍等で見たことがあると思います。ナショナルモールの北側には省庁や博物館のほかオフィスや店舗もあります。とても整理された街並みで、ボルチモアやニューヨークとは全く異なる雰囲気ははっきりと認識できます。

3) 建築設計で必ず勉強する「落水荘」

ボルチモアから東へ車で3時間、ペンシルバニア州ミル・ランに「落水荘」があります。三大近代巨匠の一人フランク・ロイド・ライトが設計した世界で最も美しい住宅といわれる傑作です。私も学生時代に初めて知り、今まで見たことのない建築だと思いました。まさか実際に目にすると、夢のようでした。現地に行って気づいたのが外壁のテクスチャーが周辺の岩石と同じということ。周辺環境との調和を意図した結果でしょうか。

4) 終わりに

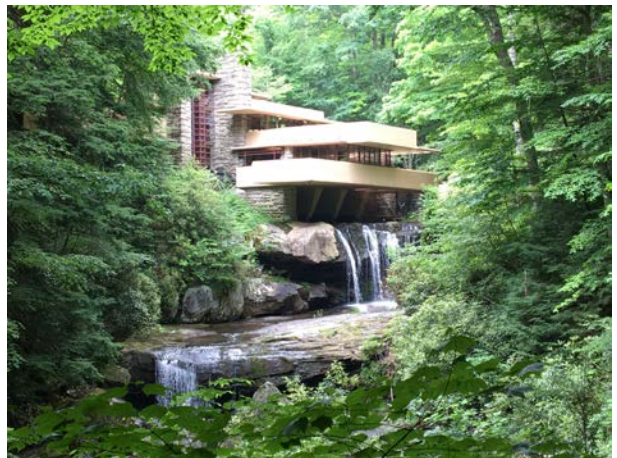
一年間の海外生活は私にとって大変貴重な経験でした。多くの新たな友人と出会い、様々な都市や建物を訪ねることができました。その貴重な体験を少しでも皆さんと共有したいと願い、この「アメリカ・ボルチモア便り」を執筆しました。現在、全世界的にコロナ禍が蔓延しています。この状況下でみなさんに海外渡航をお勧めすることはできません。でも、必ずコロナ禍は収束します。その暁には、様々な方法で見聞を広めてください。今は準備のときです。



National mall の北側の街並み。整然としており、ボルチモア、ニューヨークとは全く様相が異なります。この周辺はいつ訪れても人影はまばらです。



ワシントン D.C.の象徴のひとつ National mall に建つワシントン記念塔。桜の咲く季節に訪れました。この辺長比もかなり大きいですが不安は感じません。



「落水荘」。1階の床と屋根が片持ち梁でせり出し、構造的な軽快さが感じられます。建物の外壁が滝の下の岩石の外観と調和しています。